

平成 28 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

地域が誇る、規律と活気ある学校をめざす。

1 生徒が元気！ 伸び伸びと活気あふれる生徒たち

「賢さ、優しさ、強さ」を兼ね備え、夢と志をもって常にチャレンジする「たくましい交高生」を育てる。

2 教職員が元気！ 情熱をもって生徒に向かう教職員集団

教職員が心をつなげてそれぞれの役割を果たし、同僚性をもって互いに力量を高め合い、教科指導や生徒指導に取り組む。

2 中期的目標

1 確かな学力の育成

(1) 教科指導を充実させ、学力を向上させる。

ア 生徒を鍛え、伸ばす授業の実現をめざし、「学校経営推進費」による ICT の活用及びアクティブラーニングに関する授業研究を進める。

イ 学習に向かう意識を向上させ、家庭学習時間を増加させる。 ※ 授業アンケート満足度 72% (H27) → 80% (H30)

(2) 進路指導を充実させ、チャレンジ精神をもって進学・就職に取り組んでいく姿勢を育成する。

ア 3年間を見通した進路指導計画を確立し、学力生活実態調査等を活用して、時機を捉えた進路指導に努める。

イ 進路選択に対する意欲を喚起するために、様々な機会を設定し、その内容の充実を図る。

※ 一般入試受験者数 104名 (H27) → 120名 (H30)、希望する進路達成率 71% (H27) → 75% (H30)

(3) 文・理ともにコースの教育内容の一層の充実を図る。

ア 「英語専門コース」では、英語でのコミュニケーション能力を一層向上させ、実践的で総合的な英語力を身に付けさせる。

イ 「理数専門コース」では、基礎・基本の学習及び観察・実験等を通して、科学的な思考に基づいて問題解決にあたる力を身に付けさせる。

ウ 「学芸コース」では、興味・関心や進路に応じた様々な選択科目を設定し、個々の進路実現を図る。

※ 英語検定準2級合格率 38% (H27) → 45% (H30)、理系の進路達成率 70%以上を維持 (H30)

2 豊かな人間性の涵養

(1) 特別活動や部活動、地域と連携した活動等を通して、自主性、協調性、自己有用感を育む。

ア 学校行事や生徒会活動、部活動等において主体的な取組みを引き出し、集団の中で人と調和しながら活動できる能力を育成する。

※ 部活動や行事に対する満足度 80%以上を維持 (H30)

(2) 基本的な生活習慣を定着させるとともに、規範意識を醸成する。

ア 厳しく温かみのある生徒指導により、基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成に努める。

※ 遅刻者数毎年 10名/日 未満を維持

(3) キャリア教育、人権教育を総合的にを行い、夢と志をもって学校生活を送る生徒を育てる。

ア 「交高生育成プログラム」を練り上げ、充実・発展させる。

※ 各取組みに対する満足度 85%以上を維持 (H30)

3 生徒支援の充実

(1) 校内の教育相談体制を充実させ、支援の必要な生徒、課題を抱える生徒を適切に支援する。

ア 教職員間の速やかな情報共有・連携した対応を確実なものとする。

イ 生徒支援委員会、教育相談室等の機能を高め、不登校の防止・対応に努める。

※ 生徒の「相談しやすさ」 51% (H27) → 60% (H30)

4 学校力の向上

(1) 教職員の力量の向上

ア OJT を通した教職員の育成を通して、互いの力量を高め合うとともに、教員の同僚性を育む。

イ 実践的な教職員研修を行い、授業力、生徒指導力、教育相談力等の向上を図る。 ※ 生徒アンケート 全項目数値向上

(2) 働きやすい職場づくり、

ア 業務の統合や効率化を図り、教材研究の時間及び生徒と向き合う時間の確保に努める。

イ 必要に応じて委員会等の新設・改廃を行い、学校組織体制の見直しも含め、常に円滑な学校運営に努める。 ※ 自己評価 全項目数値向上

(3) 広報活動の充実

ア 学年メルマガ、HP、学校説明会等により、保護者、中学生等に対して学校情報を積極的に伝える。 ※ 学校説明会満足度 85%以上を維持 (H30)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 28 年 12 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>【教育活動・学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の評価は「日常的な話し合い」89%、「評価の次年度への活用」82%、「指導方法の工夫・改善」100%であり、この3年間で増加傾向にある。 ・授業アンケートにおける生徒の授業満足度は72%で、前年と同様であった。次年度も相互見学を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざす。 <p>【学校生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この3年間の生徒の評価は、多くの項目で肯定的回答が80%以上であった。 ・「部活動は活発」約90%、「学校行事の工夫」約80%であり、数値自体は高いが年々減少傾向にあると思われる、気がかりである。これは教員の評価とも一致するところがあり、本校の大きな課題である。 ・「先生に相談しやすい」約50%、「質問しやすい」約65%であり、生徒が悩みの相談や質問をしやすと感じる良好な雰囲気作りと、相談に対して適切に対応できる教育相談力の向上に引き続き努める必要がある。 <p>【学習環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自習室、図書室等の学習環境」に関する生徒の肯定的回答は88%だが、「施設・設備の点検・管理」に関する教員の評価は56%（年々減少）である。生徒の学習環境をより一層整え、学習意欲の向上につなげていきたい。 	<p>第1回（6/20）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プロジェクト活用模擬授業・・・教科書本文等を黒板に映しながら、チョークで板書できるのはとてもよい。この授業の風景をHPなどでどんどん発信するとよい。 ○携帯電話（スマートフォン）・・・ポケットに入れておくと使ってしまうので、ロッカーにしまうようにするとよい。大学の授業等でも使用が目立つので、高校での指導をしっかりとしてほしい。 <p>第2回（10/29）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校説明会・・・交野高校がどのように子どもたちを育てようとしているかがよくわかった。生徒たちが一生懸命案内してくれて、礼儀正しく、とても感心した。 ○遅刻・・・遅刻者数が微増している。遅刻0をめざしてほしい。遅刻したら罰を受けるというのではなく、早く行けばいいことが待っているという状況を作るとよい。 <p>第3回（1/27）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交野市では小中合同の公開授業で力をつけている。“授業を見られる”ことは有効。 ○部活動の活性化のためには、生徒たちが中学時代はどうだったのか、部活動に何を求めているのか等を分析する必要があるのではないかと。 ○平成29年度は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、子どもが学ぶことに対して喜びをもてるように進めてください。

府立交野高等学校

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成	<p>(1) 教科指導の充実による学力の向上 ア 学校経営推進費による ICT を活用した授業研究の実施 イ 学習に向かう意識の向上</p> <p>(2) 進路指導の充実 ア 3年間を見通した進路指導計画 イ 進路選択に対する意欲の喚起</p> <p>(3) 各コースの充実 ア 英語専門コース イ 理数専門コース ウ 学芸コース</p>	<p>(1) ア・生徒を鍛え、伸ばす授業をめざして、ICT の活用及びアクティブラーニングに関する授業研究を進める。 ・全教員が公開授業を行い、相互授業見学によって個々に助言するとともに、全体での研修会を設ける。 イ・自習室、図書室の活用等を通して、学校全体に学習する雰囲気を生み出す。</p> <p>(2) ア・3年間を見通した進路指導計画に基づき、学力生活実態調査等を活用して、時機を捉えた進路指導を行う。 ・放課後、早朝、長期休暇中の講習を系統的に行う。 イ・卒業生講演、外部模試、就職ガイダンス等により、自己の進路実現に向けて取り組む姿勢を養う。 ・スペシャルステイ・ディを継続し、学習習慣を身に付ける。 ・各種検定の受験、各種コンテストへの参加を推進する。</p> <p>(3) ア・オーストラリア・ホームステイプログラムを実施する。 ・関西外大と連携し、英語 one day キャンプを実施する。 ・英語検定の合格者数の増加をめざす。 ・2年でスピーチコンテストを実施する。 イ・摂南大と連携し、大学での実験・実習を実施する。 ・生徒を参加させて、サイエンス教室を実施する。 ・理系進学実績の向上をめざす。 ウ・体育、芸術、情報における特色ある科目の充実を図る。</p>	<p>(1) ア・全教科での研究授業の実施 ・各教員が公開授業と2回以上の授業見学を実施し助言作成 ・授業満足度 73% (H27 72%) イ・学習の雰囲気に対する肯定的評価 60%以上を維持</p> <p>(2) ア・一般入試受験 110名 (H27 104名) ・希望進路達成率 72% (H27 71%) ・開講講座数 21 (H27 20 講座) イ・生徒の満足度 80% ・生徒の満足度 80% ・受験者、参加者の状況</p> <p>(3) ア・生徒の満足度 95% (H27 100%) ・生徒の満足度 95% (H27 100%) ・英検合格 3級 72% (H27 71%) 準2級 40% (H27 38%) 2級 6名 (H27 5名) ・生徒の満足度 80% (H27 79%) イ・生徒の満足度 90% (H27 98%) ・生徒の満足度 90% (H27 100%) ・理系の進路達成 71% (H27 70%) ウ・授業満足度 72% (H27 82%)</p>	<p>(1) ア・全教科で ICT 及び AL の研究授業 (78%の教員が実施)、公開授業は全員が実施、見学は平均 2.5 回。授業改善の技能と意識が向上 (◎) ・授業満足度 72% (○) ・学習環境に対する評価 88% (◎)</p> <p>(2) ア・一般入試受験者 142名 (◎) ・希望進路達成率 73% (○) ・開講講座数 21 (○) イ・進路取組み 満足度 81% (○) ・SSD 120名参加、完走率 73% (△) ・漢検 18名、情報 175名合格 (○)</p> <p>(3) ア・オーストラリア 10名 満足度 100% (◎) ・英語キャンプ 15名満足度 100% (◎) ・英検合格 3級 77%、準2級 41% 2級 5名 (◎) ・スピーチ満足度 93% (◎) イ・大学実習 満足度 95% (◎) ・サイエンス教室 小学生 54名 100%、 高校生 21名 100% (◎) ・理系進路達成率 65% (△) ウ・授業満足度 80% (◎)</p>
2 豊かな人間性の涵養	<p>(1) 特別活動や部活動等を通じた、自主性、協調性の育成</p> <p>(2) 基本的な生活習慣と規範意識の醸成</p> <p>(3) 夢と志をもった交高生の育成</p>	<p>(1) ・生徒に企画等に積極的に関わらせることにより、学校行事や生徒会活動、HR、部活動等における生徒の主体的な取組みを引き出す。 ・地域と連携した活動の充実を図る。</p> <p>(2) ・教員が毎朝校門で生徒を迎え、挨拶・服装・遅刻指導を実施する。また、丁寧な頭髪指導等を行い、落ち着いた学習環境の維持に努める。</p> <p>(3) ・3年間を見通した「交高生育成プログラム」によって、人権教育、キャリア教育等を総合的にを行い、生徒の夢と志を育む。</p>	<p>(1) ・部活動加入率 75%を維持 ・生徒の満足度 85% (H27 84%)</p> <p>(2) ・遅刻者数 現状を維持 (H27 5.6 人/日) ・服装・頭髪違反者ゼロを維持</p> <p>(3) ・各取組みに対する満足度 85%</p>	<p>(1) ・部活動加入率 69% (△) 加入者減、退部者増の傾向にある。本校の大きな課題。 ・行事満足度 84% (○) ・生徒会や部が積極的に地域に貢献。</p> <p>(2) ・遅刻者 6.7名/日 (○) ・学期毎に服装頭髪検査を実施し、落ち着いた学習環境を維持 (○)</p> <p>(3) ・大学見学、講演会等の取組みへの肯定的評価 85%以上 (○)</p>
3 生徒支援の充実	<p>(1) 教育相談体制の充実による適切な支援</p>	<p>(1) ・支援の必要な生徒に対して、学年主任、担任、養護教諭を中心として教職員が連携し、電話連絡や家庭訪問等により速やかに対応する。 ・生徒支援委員会によって情報を共有し、個々の生徒に対する適切な支援方法を学校全体で組織的に考えていく。 ・教育相談室の機能を高めるとともに、スクールカウンセラーを十分に活用し、不登校の防止・対応に努める。</p>	<p>(1) ・生徒の「相談しやすさ」肯定的評価 55% (H27 51%) ・教員の「SC の活用状況」肯定的評価 70%</p>	<p>(1) ・生徒の「相談しやすさ」50% (○) ・教員の「SC 活用状況」80% (◎) ・生徒支援委員会を毎月開催して、組織的な支援を進めた。 ・SC をミニ研修や相談・ケース会議にフル活用し、教育相談力の向上に努めた。</p>
4 学校力の向上	<p>(1) 教職員の力量の向上</p> <p>(2) 働きやすい職場づくり</p> <p>(3) 広報活動の充実</p>	<p>(1) ・授業、部活、HR、保護者対応、日常業務等について、経験年数の少ない教員同士の OJT 勉強会を実施する。 ・教科会を積極的にを行い、授業力の向上に役立てる。 ・教職員研修や研修報告会、模試結果活用会議等を行い、生徒指導力、教育相談力、進路指導力等の向上を図る。</p> <p>(2) ・業務の統合、改善、削減等を図ることにより、教材研究の時間及び生徒と向き合う時間を確保する。 ・職員室の整備や ICT の活用等により、速やかな情報の伝達とその共有を図る。</p> <p>(3) ・ホームページ、学年メルマガ等により、学校の情報を保護者や地域に積極的に発信する。 ・学校説明会、中学校訪問の充実を図る。</p>	<p>(1) ・OJT 勉強会 10回 ・教職員研修 5回 (回数の維持と質の向上) ・自己評価「日常的な話し合い」肯定的評価 80%</p> <p>(2) ・自己評価 肯定的回答 60%</p> <p>(3) ・HP 更新 150回 (H27 144回) ・メルマガ発信 50回 (H27 49回) ・学校説明会満足度 80%以上維持</p>	<p>(1) ・OJT 勉強会 10回 (○) ・教職員研修 7回 (◎) 人権 2、SC 2、ICT 2、観点別評価 1、月例教科会等 ・「日常的な話し合い」89% (◎)</p> <p>(2) ・校内予算作業の簡素化を実施。さらに業務の統合・削減が必要 (△) ・会議資料等のメール配信、職員室のレイアウト変更等を実施 (○)</p> <p>(3) ・HP 更新 150回 (○) ・メルマガ発信 42回 (△) ・学校説明会 満足度 91% (◎)</p>